



# いしかわ労福協

新年号 2022年1月15日

発行所 石川県労働者福祉協議会  
発行責任者 福田 佳央  
編集人 上野 貞彦  
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号  
電話 (076) 231-1737  
FAX (076) 231-1731  
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>  
[info@ishikawa-rofukukyo.jp](mailto:info@ishikawa-rofukukyo.jp)  
毎月1回 25日発行

## 謹賀新年



金沢港クルーズターミナル

©石川県観光連盟



(一社)石川県労働者福祉協議会  
理事長 福田 佳央

新年あけましておめでとうございます。約2年間に亘り、私たちの生活に大きな影響を与えてきた、新型コロナウイルスは、未だに収束が見込めないものの、2022年が皆様にとって、明るく実り多い年になりますことをお祈り申し上げます。

昨年は、コロナ禍にあっても、各種取り組みに工夫を凝らし、感染防止策を講じながら何とか行事を行うことができました。ご協力・ご支援を頂きました各自治体をはじめ労働団体、事業団体の

皆様に心から御礼を申し上げます。

労福協では、「暮らしの総合サポートセンター」として、これまでの「子育て支援」「福祉なんでも相談窓口」に加え、新たに金沢市からの受託事業として、「女性のための安心生活相談会」を年4回実施しています。

また、各地域のライフ・サポートセンターを通じて、働く人やそのご家族、地域の方の親睦行事やボランティア活動、各種セミナーの実施などで地域社会に貢献できる事業を行っています。

コロナ禍により、社会全体が疲弊している中で、働く人の生活支援に向けて、労働組合や労働金庫・こくみん共済coopなどの役割は重要になってきています。「福祉はひとつ」を合言葉とした「自主福祉運動」が労働組合等を通じてすべての働く人に行き渡るような取り組みを行わなければなりませんし、その中心に労福協が位置付けられています。

新しい年も、労福協の活動にご理解とご協力をしていただき、「人とくらし、環境に優しい福祉社会」の実現に向けて、共に取り組みましょう。

### 地域ライフ・サポートセンターへのご協力を賜りますようお願い申し上げます

珠洲・能登地域LSC	会長 谷 良治
輪島・穴水地域LSC	会長 諸橋ヒロシ
七尾・鹿島地域LSC	会長 小島 秀一
羽咋地域LSC	会長 室屋 裕樹
河北地域LSC	会長 邑井 宣孝
金沢地域LSC	会長 狩山 久弥
白山・野々市地域LSC	会長 柚木 茂二
小松・能美地域LSC	会長 古田 政敏
加賀地域LSC	会長 荒木 一行

## 2022年 迎春

(一社)石川県労働者福祉協議会  
理事長 福田 佳央  
役職員一同





石川県知事  
谷本 正憲

明けましておめでとうございます。令和4年の新春を迎え、皆様には、謹んでお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

去年は、新型コロナウイルス感染症との闘いが、一進一退を繰り返した年でした。過酷な環境のもと、昼夜を問わず、高い使命感を持って献身的に感染者の治療を行っていただいている医療従事者の方々や、県民生活に不可欠な社会インフラを支えていただいている皆様方に心より感謝を申し上げます。

ワクチン接種の進展をはじめ、感染防止対策が日々前進する中、これからは、感染防止対策と、地域経済の再生を両立させていくことが、本県経済を一日も早く本格的な回復軌道に乗せていくことに繋がるものと考えています。引き続き、県民や事業者の皆様の声をお聞きしながら、あらゆる手立てを講じてまいります。

その上で、県民生活の安全・安心の確保はもとより、本県の更なる飛躍・発展に向けた施策についても、しっかりと取り組んでいく必要があると考えています。

貴協議会におかれましては、就業等の相談への対応や仕事と育児の両立支援など、本県の労働者福祉の向上に多大なご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



ルビーロマン

©石川県観光連盟



石川県市長会  
会長 山野 之義  
(金沢市長)

謹んで新春の祝詞を申し上げます。皆様方には、日頃から県内各市の市政推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げますとともに、労働者の生活の安定と福祉の向上にご尽力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

去年は、春先から二度にわたり、石川県内に「まん延防止等重点措置」が適用され、県内各市においては、感染症の拡大防止と社会経済活動の両立を図るため、医療・検査体制の更なる充実、経済・雇用・生活面への支援に加え、ワクチン接種の円滑な実施に総力を挙げて取り組んでまいりました。本年においても、引き続き、市民生活の安全安心の確保と地域経済の一層の活性化に向けて、魅力と活力ある地域づくりに取り組んでいかなければならないと考えています。

さて、県内の雇用情勢は、未だ注意を要する状態にあるものの、有効求人倍率が上向き傾向にあるなど、良い兆しが見え始めています。

こうした中、市長会としては、若者の地元就職をはじめ、女性・高齢者等の就労支援に取り組むとともに、誰もが活躍できる働きやすいまちの実現に向けて、貴協議会をはじめ関係団体等の皆様と連携協力しながら、市民生活の安定に努めてまいります。

新しい年が、皆様方にとりまして、明るく希望に満ちた年になりますようご祈念申し上げますとともに、本年もより一層のお力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



治部煮

©石川県観光連盟





石川県町長会  
会 長 矢田 富郎  
(津幡町長)

新年明けましておめでとうございます。  
皆様方には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も、県内各町の振興発展と住民福祉の向上に決意新たに取り組めますので、力強いご支援とご協力をお願いいたします。

さて、人口減少と少子・高齢化が進み、私たち市町にあっても、この構造的な課題がまさしく顕在化し、大変厳しい情勢にあります。

また、コロナ禍の収束が見えない中、依然として多くの人々が厳しい状況に置かれています。とりわけ社会的に弱い立場にいる方々ほど深刻な打撃を受け、格差や社会の分断がより拡大しつつあります。

一方で、感染の拡大を通じて、社会全体のデジタル化の動きが一気に高まるとともに、テレワークを始めとした「働き方の新しいスタイル」が広がるなど、人々の行動や意識には大きな変化が生まれております。

こうした社会変革の動きをしっかりと捉え、危機から生まれた変化を、これからの地方創生と住みよく暮らしやすい魅力ある街づくりに繋げて、雇用の維持と定住促進、結婚・子育て支援のほか、セーフティネットの充実等の施策に力を尽くしていく所存であります。

石川県労働者福祉協議会並びに関係の皆様におかれましても、自立する地域行政のため、安全で安心して暮らせる地域づくりのため、更なるご支援、ご協力を切にお願いいたします。

結びに、本年が皆様方にとって健康で幸多い一年でありますよう心よりお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。



岩ガキ

©石川県観光連盟



労働者福祉中央協議会  
会 長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルスの感染拡大により、日本社会の脆弱さが浮き彫りとなった今、公的支援の強化を求め、安心して暮らせる社会にむけて継続的に取り組むことが重要です。中央労福協は「生活・就労応援基金（ろうふくエール基金）」を立ち上げ、様々な団体や個人から多くのご協力をいただき、困難を抱える人たちへの生活・就労支援活動を応援してきました。

第3期奨学金制度改善・学費負担軽減運動では、誰もが安心して学べる社会をめざし取り組みます。

私たちはコロナ禍により行動が制限される中であっても、これまでの運動で培った経験を糧に、時代に即した運動スタイルを取り入れてコロナ危機を乗り越えていかなければなりません。「今こそ、労働者福祉運動の出番」との気概を持ち、ポストコロナ社会にむけての労働者自主福祉活動を進めて参ります。「2030年ビジョン」の実現をめざし、ともに前進していきましょう。



上生菓子

©石川県観光連盟





北陸労働金庫  
副理事長 西田 満明

新年あけましておめでとうございます。旧年中は北陸労働金庫をご愛顧いただき、心よりお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大は、依然として世界経済の景気回復に暗い影を落としています。一方、世界的な金融緩和により、とりわけ欧米においてインフレ懸念が高まりつつあります。

国内経済では、自動車減産に伴う輸出や国内販売の低迷が景気を下押ししたことでマイナス成長となる見通しです。

金融機関を取り巻く環境は依然として厳しく、かつ社会全体が大きな変化を続けています。また、新型コロナウイルスの感染拡大は、感染防止のための事業活動の制約や勤務形態の見直しが進むことになったほか、非対面サービスの拡大やデジタル化の加速等、経済活動や人々の生活に大きな変化と影響を及ぼすこととなりました。

そのような中、弊庫では生活総合福祉金融機関の使命・役割を果たすために、自主福祉運動推進での「個別面談」等を通じて、返済金の見直しを行うなど、働く方々の生活設計、資産形成、可処分所得向上に向けた「生活応援運動」に取り組んできました。

また、私たちは、皆様のお支えで昨年10月1日に創立20周年を迎えました。すべての働く仲間やお客様のワークライフバンクとして、これまで以上に頼られる存在となるために、決意を新たにスタートしました。働く方々の生活支援の取り組みをこれまで以上に進めてまいります。

皆様のご健勝と益々のご発展をお祈り申し上げますとともに、本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。



寒ぶり

©石川県観光連盟



こくみん共済 coop 石川推進本部  
本部長 野村 昇司

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は「こくみん共済 coop 石川推進本部」の事業推進に、格段のご理解とご支援を賜わり厚く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は未だ収束の兆しが見えず、むしろ事態は深刻さを増した状況下で2022年がスタートしました。この間、当会では組合員・お客様の感染防止・安全確保を最優先にした行動に徹し、推進体制の強化に取り組みを進めてまいりました。

また、頻発する自然災害の中、SDGs 行動宣言にもとづく「防災・減災運動」や、「7才の交通安全プロジェクト」・「こどもの成長応援プロジェクト」等、社会課題への取り組みを通じ、共済運動の社会的価値を高め、運動と事業の更なる成長を目指し取り組みを展開してまいりました。

2021年度は、中期経営政策「New-Zetwork」で掲げた目標達成に向けた最終年度であり、2022年は次期中期経営政策を策定し、今後の事業の持続的成長と運動の発展を図っていくため、様々な課題に取り組む極めて重要な年となります。

しかしながら、労働組合の組織率の低下、組合員の組合運動からの意識離れ、長引くマイナス金利政策、人口減少・少子高齢化・生産人口減少などの社会構造の変化に伴う「人・家・車のマーケットの縮小」、大規模自然災害の増加、新型コロナウイルスによる感染拡大など、さらに厳しさと難しさを増していきます。

こくみん共済 coop の理念であります「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」のもと、組合員一人一人に寄り添い、より身近な存在として組合員と「深く」「長く」関係づくりを進め、その力をもって「広く」事業と運動の発展ができるよう、職員一同全力で掲げた目標の完遂をめざしていきます。

引き続き、皆様のご理解・ご協力を心よりお願い申し上げます。

結びとして、本年が皆さまにとって「安全」で、良い1年になります事をご祈念申し上げ、新年のご挨拶にさせていただきます。



五色饅頭

©石川県観光連盟





(一財)石川県労働者信用基金協会  
理事長 黒谷 治夫

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は当協会に対しまして格段のご理解とご協力を賜り、心から厚く感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、2020年初頭から猛威をふるう新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活習慣などの変容が余儀なくされましたが、ワクチンの接種率の向上に合わせるように、穏やかな日常が戻りつつあります。

本年、当協会の取り組みとして、日本労信協への事業譲渡の協議を進めていくと共に、定款の「目的」にあります石川県下の「労働者の経済的地位向上」や「団体等が行なう福利共済活動の健全な発展を期す」ことを達成するために、石川県労働者福祉協議会の一員として北陸労働金庫や関係団体との連携を緊密にとり、役職員が一致協力して実直に「事業」を運営してまいります。

その取り組みが、必ずや皆様方の明るく希望に満ちた生活を送る一助になると信じております。

皆様方のご健康とご多幸を心からご祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



甘エビ

©石川県観光連盟



石川県生活協同組合連合会  
会長理事 長谷川 隆史

新年あけましておめでとうございます。旧年中は当会に多大なご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの新たな変異株の出現やワクチンの感染予防効果の低下など感染状況はまだまだ予断を許さない状況が継続しており、私たちの事業や組合員の生活への影響が長期化しています。

コロナ禍も2年目に差し掛かり、生活の行動様式やデジタル化など時代は大きく変わり、少子高齢化や人口減少が急速に進み、地域の力が弱まる中、格差・貧困はますます深刻な問題となってきました。

生活協同組合では、社会的距離をとる生活様式により生活協同組合の強みである「つながり」を揺るがす大きな問題への対応が迫られており、コロナ禍で生まれた新たな活動の芽を育て、知恵を寄せ合い、デジタルを活用しながらつながる力を高めているところです。

このような中で、引き続き、労福協・協同組合・行政・NPO等の皆さまとのパートナーシップで、安心して暮らせる地域社会づくりの一翼を担い貢献していきたいと思っております。最後に、この1年が皆様にとって実り多い年になりますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



かぶら寿司

©石川県観光連盟





石川県勤労者体育協会  
会 長 高 芳晴

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、新しい寅年を健やかにお迎えのことと、お慶び申し上げます。

日頃、本協会の事業推進に、温かいご支援と力強いご協力を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

昨年は、コロナ禍で一年延期された東京五輪、パラリンピックが行われ、卓球の混合ダブルスや柔道、レスリング女子競技などで、日本選手が金メダルを獲得し、国民に大きな感動と勇気を与えてくれました。

本年2月には、北京で冬季五輪が行われます。日本選手の活躍を大いに期待したいと思います。

本協会の事業においては、相撲、剣道、バトミントン競技などで、感染拡大防止の観点から2年連続で大会を中止。その他の競技については、感染防止策を徹底して大会を開催して参りました。

改めて、新型コロナウイルスが収束し、全ての大会が実施できるよう祈念したいと思います。

本協会では、このような状況下にあっても、日本で唯一と言われる勤労者のスポーツ団体という特徴を活かし、今までより以上に関係団体と情報を共有し、職域や地域に生涯スポーツの普及、推進を図るとともに、誰でも気軽に参加できる大会を通して、皆様の健康づくりにも貢献して参ります。

結びになりますが、重ねて、本協会の事業推進に、関係団体のご支援とご協力をお願いいたしますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



鯨大根

©石川県観光連盟



石川県勤労者文化協会  
会 長 大樋 陶冶斎

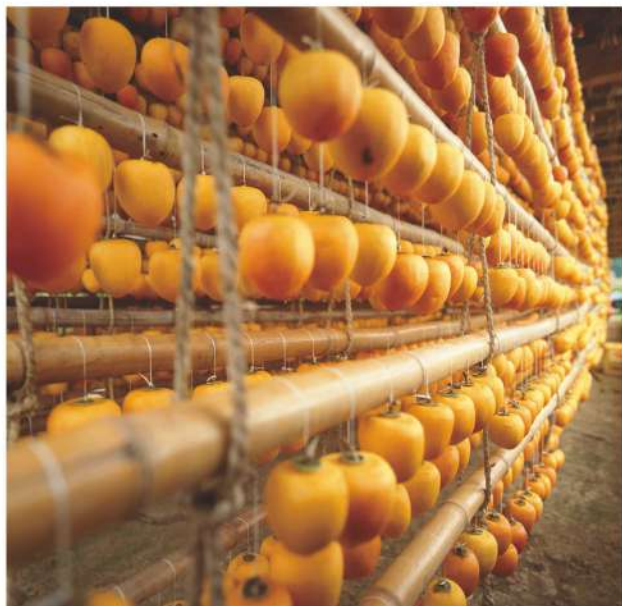
新年明けましておめでとうございます。

皆様方にはご清祥にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。労働者福祉協議会の皆様をはじめ、連合石川、各事業団体の皆様には日頃から勤労者文化協会へのご厚情に感謝申し上げます。

一昨年はコロナ禍で当協会も影響を受けましたが、昨年は大きな感染の波に何度も見舞われた中で、早春絵画・書・生花展を皮切りに、写真サロン展、絵画・陶芸展、そして勤労者美術展と順調に開催することができました。あらためて御礼申し上げますとともに美術愛好家の熱意を痛感したところです。

勤文協は、労福協事業の一環として、地域貢献を意識しつつ、各種展示会を中心とした芸術・文化の向上に寄与してまいりました。そのことを通じて美術文化立県を標榜する石川県の正に底辺を守り固めてきたものと自負しております。

本年も勤文協にご支援ご協力を賜りますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げて新年のご挨拶と致します。



ころ柿

©石川県観光連盟





NPO法人 さわやかU  
理事長 澤 信俊

新年あけましておめでとうございます。

「善き生」の実現にむけて取り組みを始め、二年目を迎える今年は、労働者福祉とは何かを問い続け、さわやかUの活動との関係性を深化させたいと思います。

コロナ禍で社会経済活動が停滞し、特にサービス職、事務員、販売店員、医療・保健従事者などで自ら命を絶った数は、コロナ禍以前と比べると45%増えました。なかでも男性は11年連続減少していますが、女性は約7千人で2年ぶりに増えました。その原因と動機は、「勤務問題」が34.8%増で、それまでの日常とは異なった生活を余儀なくされ、労働環境も大きく変化したことが考えられます。

2015年以降に転じた正規労働者総数の増加傾向を検証するに当たって、コロナ禍での非正規労働者の減少に視点を向けなければなりません。コロナ禍では、解雇や雇い止めにあった労働者の多くが女性でした。こうした女性の非正規労働者は、労働力市場の調整弁として都合よく利用されていると考えられます。

また、コロナ禍で良く耳にする「エッセンシャルワーカー」も多くが女性であり、医療や介護、スーパーマーケットなど、私たちの生活に欠かせない仕事として、社会的役割を担っています。

2020年の男性の正規雇用が増加しなかったことを、どう受け止めれば良いのでしょうか。今後の労働供給余力に大きな変化が生ずることが想定されます。性差、独身、共稼ぎ世帯を問わず、誰もが望む働き方ができ、格差のない、また「正規・非正規」という言葉が消滅する労働環境が整備されることが望ましいと思います。

さわやかUは、共同体主義に基づくポジティブズムの実践体として地域社会に貢献することを誓います。



加能ガニ

©石川県観光連盟



日本労働組合総連合会石川県連合会  
会長 福田 佳央

新年あけましておめでとうございます。連合石川の運動に対し、労福協関係団体各位の日頃からのご理解・ご協力に感謝を申し上げます。

日本でも、新型コロナウイルスの感染状況が再拡大し、更なる感染拡大防止策が必要です。その中にあっても工夫を凝らしながら、組合員の皆さんと労働組合の接点を大切にしていかなければなりません。

年明けから本格的なスタートを切る、2022春季生活闘争について、私たちは2014闘争以降、皆さんの努力によって8年連続で賃上げを達成してきました。とくに直近の2020・21春闘では、コロナ禍による先行き不透明感が強まるなかにあっても、とりわけ中小組合や有期・短時間・契約等労働者の賃上げが格差是正につながる健闘を見せています。この流れを、しっかりと継続させなければなりませんし、地方最低賃金の引上げを含め、中小・零細企業と大企業との「公正な取引」の実現も必要です。

また、今年の夏には、第26回参議院議員通常選挙も予定されています。各構成組織の推薦者の勝利をめざした取り組みも重要です。

すべての働く仲間・生活者の命と雇用とくらしをまもり、持続可能で包摂的な「働くことを軸とする安心社会」に向けて「守る・繋ぐ・創り出す」活動を進めて参りたいと思います。

石川労福協関係諸団体、ライフ・サポートセンターの皆さんの益々の発展をご祈念申し上げます。



落雁

©石川県観光連盟



金沢市「女性安心生活支え合い支援事業」  
受託事業

生活苦 雇止め  
DV被害 パワハラ  
第4回 離婚など

相談無料  
秘密厳守

女性のための  
安心生活相談会

日時 2月20日(日) 10:00~16:00  
会場 フレンドパーク石川  
対象 金沢市内に在住・勤務・在学する女性

要予約



一般社団法人 石川県労働者福祉協議会 TEL.076-231-1737

ろうきん  
スマートライフ  
キャンペーン

期間中、下記の4つの  
対象商品・サービスが  
ご利用いただけるのから  
抽選で毎月100名様に  
現金1,000円  
プレゼント!

2022年3月31日(木)まで期間延長!

スマホでスマートな生活を!

- 1 ろうきんアプリ**  
ろうきんアプリをインストールし、ご利用登録された方。
- 2 ろうきんダイレクト**  
ろうきんダイレクトをご契約し、ログインされた方。
- 3 Webお知らせ**  
Webお知らせサービスをお申込みされた方。
- 4 QRコード決済**  
J-Coin Pay ろうきんの残高口座からチャージを1回ご利用される毎。  
※PayPay、LINE Payは対象が限定された店舗対象となります。  
Bank Pay Bank Payを1回ご利用される毎。
- 5 J-Debit**  
J-Debitを1回ご利用される毎。
- 6 通帳レス口座**  
通帳レス口座を開設された方・切替された方。

抽選および運送方法  
●抽選は抽選上、上記対象者の対象取引内容をもとに抽選口座を特定し、自動エントリー(申込不要)いたします。  
●抽選中の毎月月末締めで、翌々月の当選者決定後に抽選いたします。  
●現金プレゼントは、対象商品・サービスの決済口座またはご利用登録時の普通預金口座を振込口座とし、抽選月の翌月末にご入金いたします。  
●抽選結果の個人情報は、キャンペーンの期間中のみ公開いたします。  
●また、その個人情報を当選者の同意を得ずに第三者に提供することはありません。

個人情報保護

北陸ろうきん

こくみん共済 NEWS

みんなが育てた  
安心のネットワーク  
それが「こくみん共済 coop」です

戦後まもないころ。ひとたび火災が起きると生活が崩壊する時代。  
そこで職場の仲間たちが少しずつお金を出し合い、  
お互いをたすけあう火災共済をつくったことが、  
こくみん共済 coop のはじまりです。  
その後、共済の種類を増やし、さまざまな社会課題に向かいながら、  
生活協同組合として組合員の皆さんと活動を広げました。  
今では加入件数2,977万件、  
1年間にお支払いした共済金は3,145億円と  
大きなすけあいの輪に発展しています。

※2021年8月末現在

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会

「こくみん共済 coop」は恩恵を目的としない保障の仕組みとして共済事業を始め、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで継続的に活動の拠り所となる組合員となっていただくことで各種共済制度をご利用いただけます。

公式キャラクター ビットくん